

## 小川工業高校と松橋東支援学校との交流

～ 教材教具の開発をとあして ～

### 熊本県立小川工業高等学校

小川工業高校と松橋東支援学校とが連携して、松橋東支援学校の子も達が使う教材教具を開発しています。この取組は、学校で学んだ知識を地域貢献に役立てたいという思いからスタートしたものです。小川工業高校の3年生が課題研究の授業等の時間を利用して、製作にあたっています。製作へ向けて、小川工業高校の生徒が松橋東支援学校の活動の様子を見学したり、小川工業高校の生徒と両校の担当で打合せをしたりしました。

今回、建築科で製作していた「滑り台」が完成し、9月12日に贈呈式を松橋東支援学校で行いました。式後は一緒に滑り初めを行い、交流を深めました。滑り台を使う中で課題が見つかり、早速、改善へ向けて話し合いを行いました。



10分の1の模型を製作して検討しました。



ご要望もあり、組み立て式の滑り台です。



組み立てるとこの様な形になります。



飾り付けをしてもらいました。



目録を読み上げ、滑り台を贈呈しました。



仲良く滑り初めです。  
**一緒に出発！！**

※ 現在、他の学科でも学科の特色を活かした教材教具の開発を進めており、完成次第贈呈します。開発中の教材教具は以下のとおりです。

機械科（金属を加工した遊具）、土木科（ジグソーパズル）、設備工業科（ユニバーサルデザインに配慮したピンボール）、情報電子科（コミュニケーション装置）